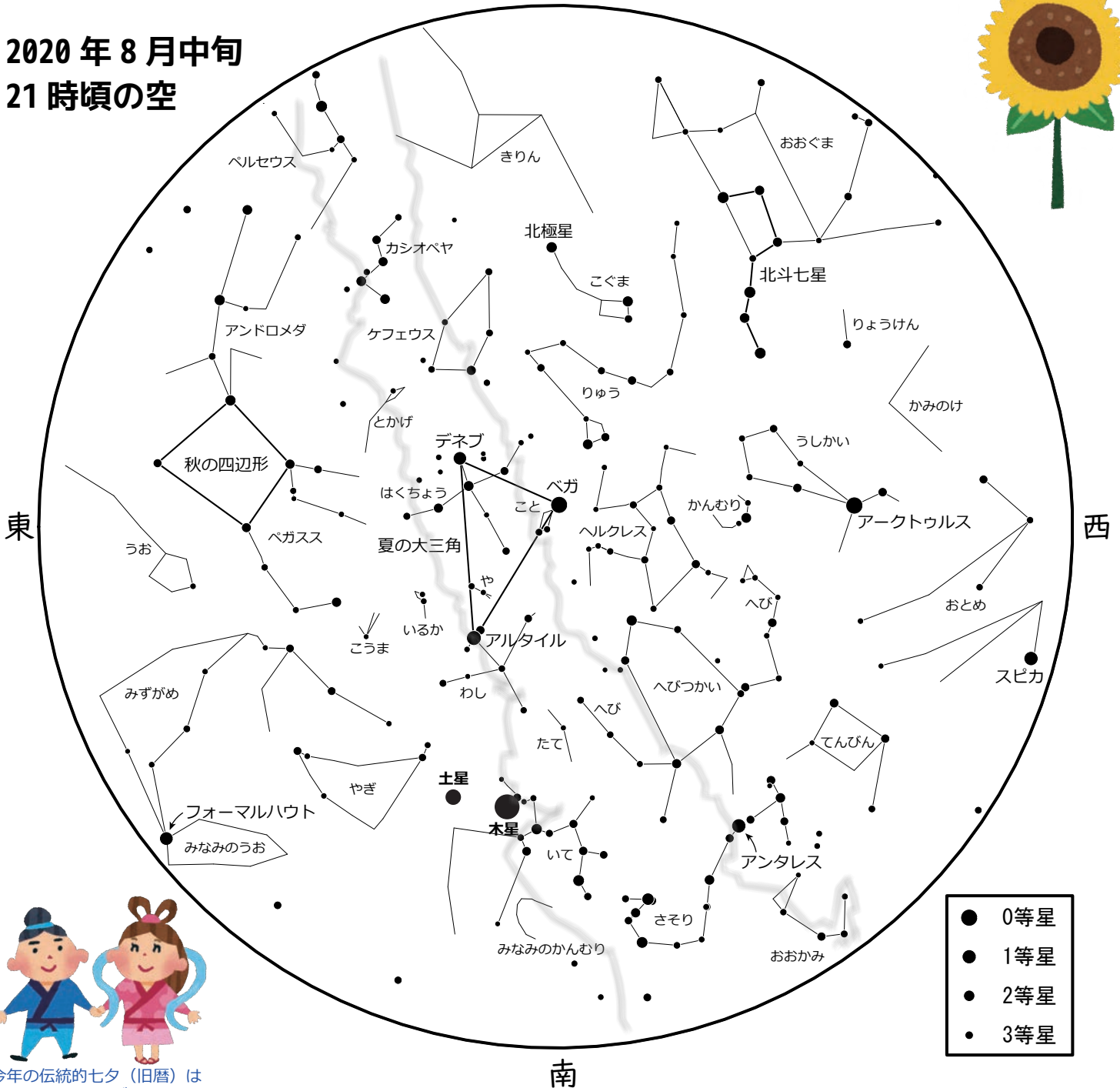
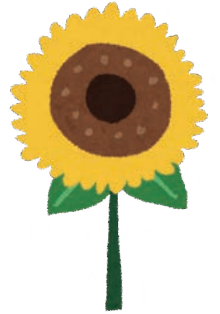


阿南市科学センター 8月の星空案内

北

2020年8月中旬
21時頃の空



今年の伝統的七夕(旧暦)は
8月25日だよ!

南

8月になると梅雨も明け、夏真っ盛りです。星空を見上げると、夏の星座が広がっています。天頂(頭の真上)付近には、夏の大三角を見つけることができます。夏の大三角は、こと座のベガ(織姫星)、わし座のアルタイル(彦星)、はくちょう座のデネブの3つの星を結ぶとできる大きな三角形です。3つの一等星からなる夏の大三角は、明るい街中からも見つけられますので、ぜひ探してみましょう。

南の空には木星と土星、さそり座のアンタレスが輝いています。2つの惑星とアンタレスの間にある天の川は、天の川銀河の中心方向にあたり、星がとても密集している天の川の濃い部分です(裏面参照)。街明かりの少ない夜空の暗いところに行った際には、天の川も探してみましょう。なお、天の川は非常に淡い光のため、目を暗闇に慣らして観察しましょう(10分くらいまぶしいものを見ない)。

天体観望会のご予約はネットかお電話にて【毎週土曜日開催 / 19時～, 20時～, 21時～】
阿南市科学センター 電話 0884-42-1600 <http://ananscience.jp/science/>

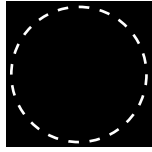
8月の月の満ち欠けと惑星について



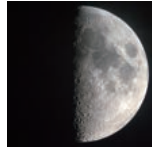
満月
4日



下弦
12日






新月
19日



上弦
26日

8月の天体観望会で月が見える日時は？

-  8/1(土)・・・20時以降の回がオススメ
-  8/22(土)・・・19時の回冒頭で観察可能
※建物が影になって見えない場合があります。
-  8/29(土)・・・全ての回で観察可能

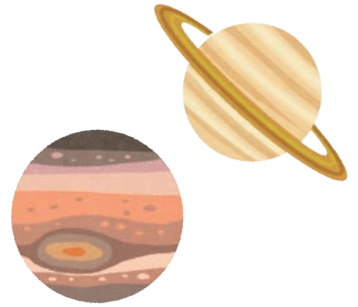
水星：初頭、日没前に東のごく低空で観察可能。【約-1等】

金星：夜明け前に東の低空で観察可能。【約-4.5等】

火星：深夜から夜明け前にかけて、東～南の空で見える。【約-1等→約-1.5等】

木星：宵から深夜にかけて、南東～南西の空で見える。【約-2.5等】

土星：宵から深夜にかけて、南東～南西の空で見える。【約0等】



注目の天文現象など

【夏の天の川】

天の川は私たちの住む天の川銀河を内側から見た姿で、夏の夜空は天の川銀河中心方向を見えています。そのため、夏の天の川は他の季節に比べ濃く見えますが、その中でも天の川銀河中心部（いて座）は非常に天の川が濃いところです。天の川銀河中心部（いて座）は南の空やや低いところにあるため、徳島県内で観察するには空が暗く、南側が開けて低空まで見渡せる海沿いの県南地域（美波町、牟岐町など）がオススメです。8/13～8/22の前半夜（21時～0時）は月明りがなく、観察や写真撮影の好機といえるでしょう。



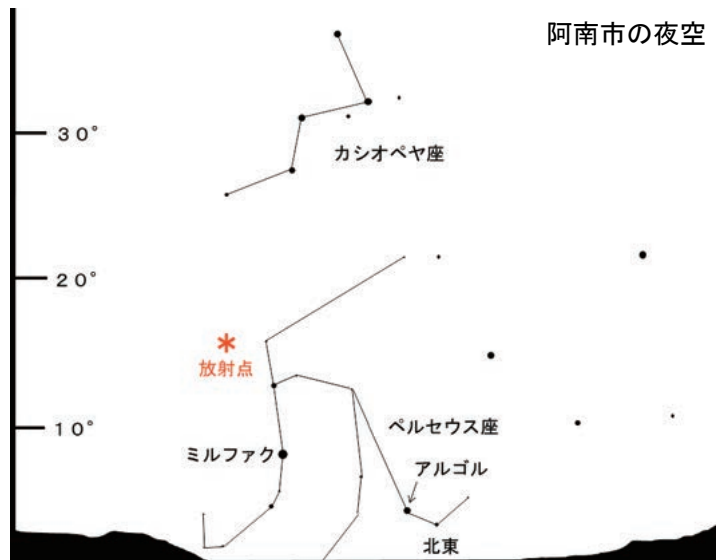
天の川銀河中心方向

【ペルセウス座流星群】

三大流星群の一つであるペルセウス座流星群。2020年は8月12日（水）の22時頃にピークを迎えると予想されています。

流星群は放射点を中心に放射状に飛びますが、空全体を流れるため、どの方向を向いて観察しても構いません。多くの流星を見るには、なるべく空が開けた場所で空の広い範囲を見るようにしましょう。なお、阿南市では23時半を過ぎると半月（下弦の月）が昇ってきます。そのため、夜半以降の観察は、月の反対方向を見るのがオススメです。

阿南市科学センターでは、8月12日（水）の20時～22時に特別観望会「ペルセウス座流星群を見よう」を行いますので、ぜひ、お越しください。



ペルセウス座流星群放射点の位置
(2020年8月12日22時頃)